

徳山市飯島町1-13 Tel 22-8875 Fax 22-8813



新春をむかえて
 徳山小学校区コミュニティ推進協議会
 会長 國富 晃

新年あけまして
 おめでとーございます

平成十五年元旦、朝六時に家を出て、とおの山山頂のすばらしい初日の出を拝み、今年の門出の平安ならんことを祈願しました。今までの何度か初日の出逢拝登山に参加してきましたが、このようなご来光の光景には一度も会ったことはありませんでした。

今年は周南合併の年を迎えました。私たちのふるさと徳山市がたとい周南市に生まれ変わろうとも、脈々として流れる幾多先輩の教えを受け継ぎ、その更なる発展を期していこうとする私達は幸せの限りであると思えます。

徳山小学校区コミュニティ推進協議会の行事も、春のさくら街道まつり、夏のナイトフェスタ in 青空の二つを軸として、その前後に新春ふれあいの集い及び建国記念の日の行事などを配して、少しでも両地区の皆様喜んでいただけるような行事の創出を念頭に置きながら実施しております。このたびの周南合併を機に、コミュニティ推進協議会でも他の関係諸団体の融合のもと、コミュニティ意識の更なる高揚をはかっていきたいと思っております。

今年もよろしくお願ひ申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

婦人会所感

会長 近藤和代

歳月の流れは早く大正二年藩主夫人が初代会長として発足、お蔭様にて激動の三世代を経て今日九十周年を迎えました。結成以来諸先輩諸姉によって刻まれた一つの年輪の重さに感慨ひとしおのものがあります。記念行事の中、会歌「鼓海」は会の成り立ちや活動又会花木蓮に未来の姿をもちこんでのすばらしい歌の発表でした。今後は先人の基盤を伝承しつつ、新しい歴史と伝統づくりに大切な灯をけさない様努力精進をと決意を新たにしました。



会旗



創立記念式典

念願叶って創立記念行事も盛大に終了しました。今は新年度の活動計画へと心が動いております。さて、社会環境も大きく変わり、すべての面に一段と不透明感が増して来ている昨今です。特に新しい会員の獲得が難しくなっていることがよく分かり、婦人会も装いを少しづつ変えながら新しい道を切り開いて行く事が求められています。次世代へ向けての地域のコミユニケーションづくりに更なる飛翔をめざしてがんばる所存であります。

なお、合併後は現徳山市中央婦人会を「徳山中央婦人会」と改名させていただきます。ご了承ください。



白もくれんコーラス

皆様方には、お健やかに新年をお迎えになられたことと、お喜び申し上げます。

本年も国内には進まない構造改革、低迷する経済、イラクや北朝鮮などの外交等、諸事多難な事が推測できます。四月から二市三町合併により、徳山市も周南市となり新しい市が誕生します。

広報紙「ぎずな」も新市に恥じないよう、広報部委員(六名)も種々反省し、更に努力し創るよう頑張りたいと思えます。皆様のご協力と「ぎずな」をあたたく見守り、かわいがっていただくとお願い致します。

五和宮 勇



さくら街道まつり

書初め

壁のあなや
 うらなも
 鈴木 篤子

講座「書道」 鈴木 篤子

編集後記

ボランティアの 方に感謝・感謝

公民館長 松村芳彦

徳山小学校区コミュニティ活動はもろろんのこと、中央地区公民館の大掃除・きずな祭り・子ども教室等々は、有志の方に支えられてこそ運営できることであり、常日頃からありがたいことと感謝いたしております。

今年もさつそく、子ども対象の野菜づくり教室・あいさつ運動・ホームページづくり等にご奉仕をいただきつつあり、このような活動をとおして地域と学校の連携役を公民館が果たせればと願っております。

例えば風づくり教室は（昨年度は竹トンボづくり）物づくりと遊びに子どもらしさを取り戻して欲しいという願いのもと、有志の方の提案と奉仕で行っています。今後は、子どもさんのより積極的な参加を願いたいものです。

『人生は、他人に影響を与えてこそはじめて意味をもつ』という名言をアメリカ大リーグ野球殿堂入りを黒人として初めて果たした選手が残しています。

「人のために」という意識がある方は仕事を通じても仕事を離れても暖かい雰囲気を出し出し、人の輪も自然に広がる不思議な力を

発揮されます。

「人のために何かをしたい」方、大歓迎です。社会の一線を退かれた方のアイデアや経験を伺えることが、特に当公民館区内には多いのではないかと推察しております。とりあえず公民館にいられて語り合われませんか。何かよい企画が生まれるかもしれません。市の子どもサポート事業の補助もありますので、どうぞおいでください。お待ちしております。



二〇〇三年も よろしく

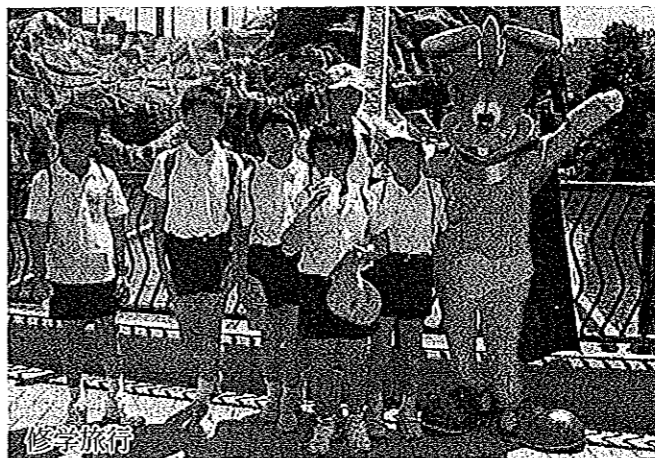
徳山市立徳山小学校

本校では、「故郷徳山が教材であり、地域の方々は先生である」ということを合言葉に、子供の自主性を尊重した校外学習活動を積極的に行ってまいりました。その過程で子供は、徳山の良さや人々の温かさ素晴らしさを再認識しながら、更に学習意欲を高めてきています。本年度も、子供が自分で考え納得しながら問題を解決できるように、体験を重視した教育活動を行うてまいります。

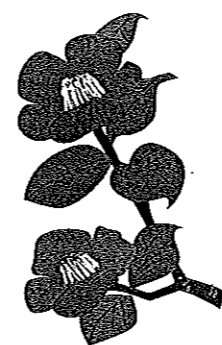


入学式

そのために、地域の皆様に先生をお願いしたり地域を学びの場にしたりすることが、多くあると思います。引き続きまして、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



修学旅行



あいさつ運動標語

昨年ご紹介しましたが、地域・家庭・学校夫々の働きかけによって、明るい挨拶のできる子どもを育成し、一歩ずつ思いやりのある地域にしていきたいという趣旨のもと『徳山小学校区あいさつ運動』が進められています。

その一環として、徳山小学校の

児童・保護者の方の意識高揚の意義も込めて標語を募集しました。その入選作品が次の十二点で、一作品ごとの看板が運動推進団体の協賛のもと、市内に展示される予定です。

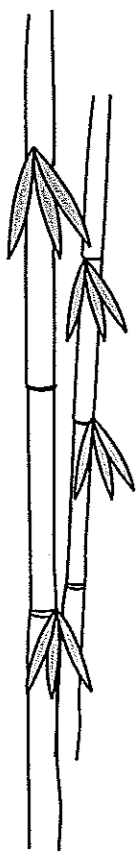
下欄の佳作も含めて小学校で表彰されます。

【入選作品】

- あいさつは まってちゃだめよ じぶんから 一年 有田 萌華
- みんなであいさつ にこにこえがお 一年 田中 忍
- あいさつは 元気に えがおで 気もちよく 二年 原 久美子
- あいさつは ところをむすぶ あいことば 二年 岡崎 修斗
- ありがとう すなおにいえたら うれしいな 三年 田中 里奈
- おはようは 朝の元気な あいことば 三年 末廣 彩
- あいさつで はじまる一日 あかるい日 四年 河谷 美束
- あいさつを される笑顔に する笑顔 四年 田村 勇悟
- あいさつは 心と心を つなぐはし 五年 倉田 寛子
- あいさつで 広がる人の輪 心の輪 五年 内山 未沙
- あいさつは 一つ一つが 心です 六年 山本 真以
- 気持ちいい あいさつ広がる ぼくの街 六年 松田 久弥

【佳作作品】

- あさ一ばん あいさつしたら いいきもち 一年 居本 拓実
- おはようのこえとえがおで ハッピーに 一年 外垣 楓
- みんなぬくもる ごあいさつ ころもからだも ぼっかばか 一年 廣田 琢朗
- あいさつは ころのドアのかざあげる 二年 西村 匠平
- あいさつで 知らない人とも お友だち 二年 宮崎 菜那
- あいさつは 心にのこるおくりもの 二年 鎌田 都子
- あいさつは してもされても きもちいい 三年 兼富 友希
- あいさつは ところをつなぐ だいいっぱ 三年 宮本 祐輔
- あいさつは 知らない人にも 元気よく 三年 磯村絵理子
- 校庭に みんなのあいさつ こだます 四年 藤井 静香
- あいさつで 楽しい一日 始めよう 四年 藤本 皓太
- あいさつは 心のとびらを 開けるかざ 四年 吉川 幸伸
- あいさつは 心をこめて 笑顔でね 五年 浅屋 景子
- あいさつで えがおいっぱい さかせよう 五年 宮岡 武
- おはようの 笑顔と笑顔が あちこちに 五年 山本 卓矢
- ありがとう 心がポツと 暖かくなる 六年 通山 汐里
- いつでもあいさつ どこでも笑顔でだれでも友達 六年 松尾 勳太
- あいさつは 大事な言葉の おくりもの 六年 吉永かおり





明けておめでとう。校区内の皆様のご支援のもと岐陽中学校六三〇名の生徒はすくすくと育っております。平素のご指導とご支援に対しまして厚くお礼申し上げます。一年間の本校の取り組みにつきましてご紹介させていただきます。

今年も校訓に恥じないよう職員、生徒とも精進してまいります。「入学式」に始まり「岐陽中フェスタ」が終了したところです。その

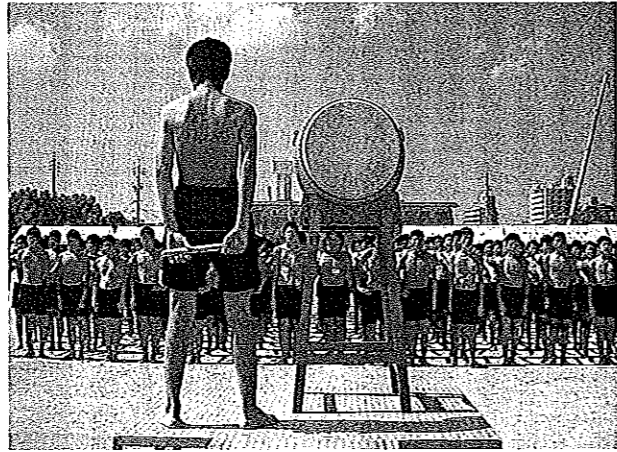
「校訓は、努力」

徳山市立岐陽中学校

平成十四(二〇〇二)年度から新学習指導要領が全国一斉に実施され、新しい教育の時代が幕を開けました。特に絶対評価や完全学校週五日制、また総合的な学習など新しい内容が目を引きました。教

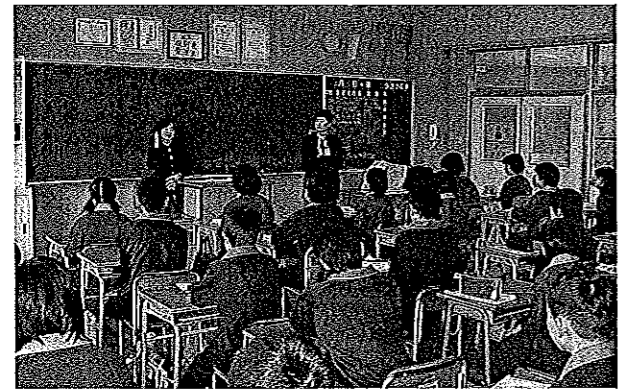
我が校の
二〇〇二年回顧と
二〇〇三年の目標

徳山市立住吉中学校



間修学旅行、萩往還の踏破、体育祭と続きましたが一部を写真でご紹介します。

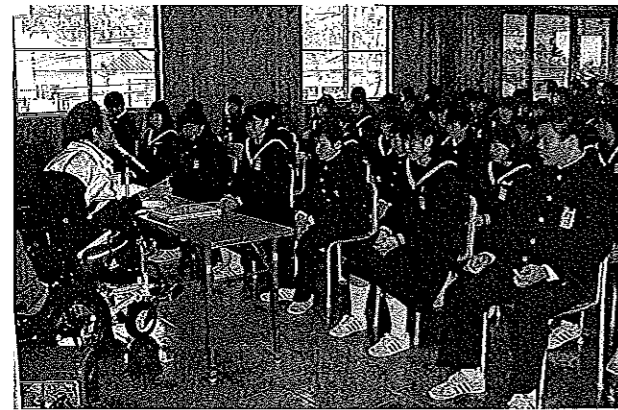
今年もまたご指導とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。



手話の話

育改革の時代にどのように対応していくかは、各学校の個性的な取り組みに期待されているといえるでしょう。以下には総合的な学習について、本校の実践を紹介いたします。

本校では、一年生の総合的な学習の時間に福祉体験学習に取り組みました。今年度は周南荘、岐山寮、鼓海苑等、各福祉施設に分かれ、また校内ではひまわりの会(手話)、やまびこの会(点訳)の方を講師に招き体験学習を実施しました。生徒たちは、事前に車椅子で生活されている方の講演を聞いて社会福祉について真剣に考えることができました。さらに福祉に関するビデオを視聴してより意識を高めて、実際に体験学習に臨みました。それぞれの場所で生徒たちは、



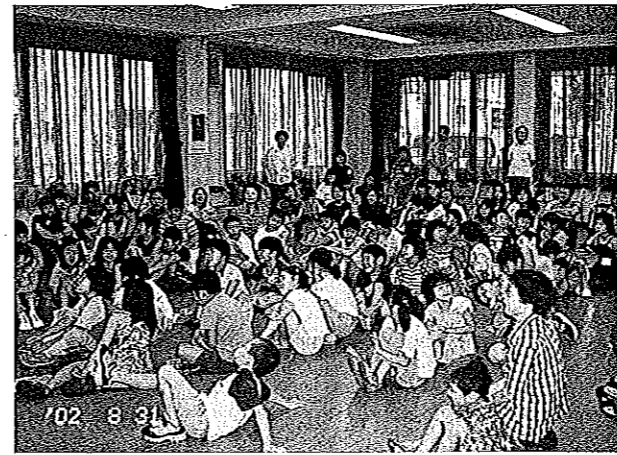
福祉の講和

認識を新たに、障害やボランティアについて深く学ぶことができました。生徒の事後の作文を読んでもみると、この学習が子どもの考えを変容させ、影響を与えたと同時に、多大な教育効果をあげることができたと実感しています。

二〇〇三年の目標は、平成十四年度の本校学校教育目標を踏襲しつつ、さらに教育効果を高めるべく、より一層精進していきたくと考えております。特に本校の校訓である「自主」「創造」「敬愛」を中核として、「教育は人格の完成である」という教育の原点に返り、教職員一同、一丸となって教育活動を展開していきたいと願っております。学校、家庭、地域の皆様との連携をより深めた教育実践を行いたいと考えております。

中央地区民生委員
児童委員活動

副会長 磯村美穂



平成十四年も、地域の中で様々な行事に取り組み活動しました。民生委員は高齢者のお世話が主と思われがちですが、近年、少子化や児童虐待、ひきこもり等が問題化し、児童委員としての役割が、重要視されるようになりました。今回、初めての試みとして、夏休み最後の土曜日、八月三十一日に、関門地区、中央地区民生委員合同で徳山小児童クラブとの交流会を計画しました。周南西緑地公園で、いろいろな遊びと、バーベキューを楽しむ予定でした。しかし、あいにくの台風到来で、会場を中央地区公民

館に変更して行いました。当日は、児童と父兄九〇名余、先生や指導者、民生委員を合わせると一三〇名という大人数となりました。一階ホールで、レクレーション協会の指導のもと、楽しいゲームに歓声をあげ、汗を流しました。調理室では昼食の準備が進み、外では台風を気にしながらも、大きな鉄板で、焼きそばと焼肉が出来上がり



ました。みんな一緒に食べるご飯の美味しかったこと。午後は、風船で動物などを作るマジックバルーンを楽しみ、交流会を終えました。日頃あまり交流のない子どもや父兄の方々に、地域の民生児童委員の存在と活動を知っていただく、楽しい一日となりました。

今年四月、いよいよ「周南合併」が実施されます。民生児童委員活動のあり方も多少変化があること



十三年の一斉改選により、新メンバー十三名で活動しています。民児協としては、地域福祉の推進を目的とする関門地区社協の具体的な担い手として、友愛訪問員二十名と共に活動を推進しています。

関門地区内五ヶ所で行なわれて

関門地区民生委員
児童委員活動

会長 山門キヨコ

と思います。児童問題、在宅介護福祉、地区社協の委員として「福祉の町づくり」や「地区敬老会」「友愛訪問活動」の取組み等々、民生委員の担う役割は多いです。今年も、地域と行政のパイプ役として、温かい、愛ある支援をしていきたいと思



りも大変喜ばれています。

今年度より児童福祉を目的とした「子育てサロン」を実施しました。入園前の子どもさん お母さんと紙芝居、折紙等たのしい一時でした。八月三十一日に中央地区民児協と合同で、徳山小学校児童クラブの、児童、父兄、先生方と、ゲームなど行い、昼食は、私達が腕を振った料理をおいしそうに食べる子どもさんの顔と、いろいろな行事でふれあう喜びの顔に接する時、又、今年も頑張ろうと心にきざみ、今後とも住みよい関門地区の創造を目指し努力したいと思

いる高齢者対象の「いきいきサロン」も会を重ねる毎に参加者も増えてきています。又年三回実施されている「ふれあい給食」で、ボランティアの心温まる手づくりのお弁当を配食していますが、お年寄

「環浄協」の反省

会長 姫野英雄

吾が団体は長い名前ですが「環浄協」と言い定着している。昔柳家金五楼の落語に「じゅげむ」があった。余り長い名前が落ちてお婆さんの入れ歯が落ちたという話であった。これも実行委員の多年に渡る努力と実績の結果であります。国の将来を担う青少年の育成は大切なことであり、徳山駅前繁華街の環境浄化は極めて重要で、周南市の発足にも一石を投じ、同志の結束も固い。

過去と現状

当団体は昭和五六年、故田村市議と徳山警察署吉岡防犯課長のご奔走によって結成され、現在まで引継がれています。最近、社会情勢は険悪の度を増し、社会悪に青少年が染まらぬ様務める事は、私達の責任であります。周南地域はまだ悪染度は少ないと思われませんが現在に生きる私達に大きな課題がまかされていて強く責任を感じています。過去の実績を回顧し乍ら、積み重ねていきたいと思います。

構成人員
当会発足より、徳山警察署の暖かいご指導を受けて居ます。藤原署長、生活安全課山本課長、青少年係西村さん、田中さんに特別お世話になっております。紙数の関係で会員一人一人のお名前は列挙出来



ませんが推進委員20名、推進協議会員21名であります。何れも町の指導者であり、会を重ねる毎に、心が通じ、町の改善すべき箇所を掘り出し、徳山市の環境浄化に努めています。

二〇〇三年の抱負と目標

過去に不純な雑誌の自動販売機撤去運動や宣伝貼り紙の清掃、溜り場の閉鎖、ゲームセンターの視察等、有害環境の排除に務めて来ました。繁華街には誘惑があり、新車の迷惑行為が待っています。これ等を排除し、育ち行く少年の夢を捻らせるにはどうしたらよいか絶えず実行あるのみであります。少年達に夢を求めてもらえるような標語募集もしました。これからも努力致しましょう。

周南誠友会(よさこい)の回顧と目標

小松 徳三

毎週火・木曜日、中央地区公民館をホームグラウンドとして、早や一年が過ぎました。

この一年を振り返って見ますと、年度始めに、「こども講座」として「よさこい」を扱っていただき、徳山小学校区コミュニティの行事として、「さくら街道祭り」、「青空フェスタ」に参加、市の行事「大徳山夏まつり」、「のんた祭り」、県の行事「きらら博メモリアルイベント」や山口県大会を始め、県内各地の夏、秋祭り20数ヶ所に参加して来ました。

当初、子供10名、大人12名でスタートした会員は、現在子供40名、大人22名に成長し、ホールだけでは手狭になり、別館も借りて練習して、現在レパートリー曲5曲、新曲



オリジナル曲に取り組んでおります。松村館長を始めとして徳山小学校区コミュニティ関係の方々の御理解のお陰と会員一同感謝いたしております。今後も周南誠友会をよろしく願い致します。

二〇〇三年の抱負と目標
今年、秋(おそろく)の「のんたフェスタ」の時期に、中国・九州地区大会、を徳山にて引受けましたので、大会を成功させることを大目標に、会員一人一人の技術の向上を目標としております。

当大会は、中国・九州地区の踊り子が、三〇〇〇人近くこの徳山に集まり、踊り狂います。活気ある徳山を想像し、嬉しくなります。

徳山小学校区コミュニティの皆さん、一緒に踊りませんか？お待ちしております。

今年の周南誠友会の活躍に、ご協力下さい。よろしく願い致します。

二〇〇二年回顧と二〇〇三年の目標

中央地区体育振興会 磯村 富也

私事で恐縮ですが、一月は北海道ルスリソート内でスキーオリエンテーリングの大会に参加。(クロスカントリースキーで決められたポイント順番に廻りタイムを競う)

三月、周南緑地で60歳以上対象の「自悠人市民はつらつセミナー」のプログラムの一環としてのオリエンテーリングの世話をしました。初めての人ばかりでしたが緑地内に設けられたポイントを廻りいい汗をかいていました。今年も開催されます。

同三月、障害者と一緒に太華山に登りました。

四月、向道湖マラソン4km出場、久し振りにマラソンを走りました。

六月、道後クロカンパークにすずらんを見に行き道後山、葦嶽山に登りました。

同六月、熊毛町札尾山から竜ヶ岳登山。大島の文殊山、嘉納山、嵩山往復17km。

七月、島根県桜江町ピクニックラン15kmウォーク出場。

八月、「24時間テレビ」協力で周

陽公民館へ太華荘10kmラン。光く徳山駅往復チャレンジ完歩37kmに九月、夕やけマラソンinほうほく10km。北海道利尻山登山、礼文島ウォーク。

十月、中央地区運動会の得点係として世話。秋吉龍護峰登山。

十一月、クラス会で佐賀へ虹ノ松原く鏡山く唐津く虹ノ松原22kmウォーク。

十二月、大津島ポテト健康マラソン5km出場。12年連続出場表彰(七色)。もみのき森林公園へ雪の中クロスカントリースキー練習2日。

二年前、走り過ぎて膝を痛めましたが、健康ジムで筋トレ、水泳等により少しは走れるようになりました。最近は何となく体力の低下を実感しています。皆さん、日頃から出来る限り運動を続けることが必要です。年を取ってからでなく体の柔軟な時から医者の世話にならない生活が送れるよう運動の習慣をつけましょう。

二〇〇三年の目標

これも私事でごめんなさい。雪のある間はクロスカントリースキーに。まずは二月北海道オホーツク85kmクロスカントリースキー大会に出場し完走すること。自然を知り登山、キャンプ、長距離ウォーク等アウトドアライフを楽しむこと。

二月二六日には昨年好評だった周南緑地で「自悠人市民はつらつセミナー」のオリエンテーリング大会が開催されます。

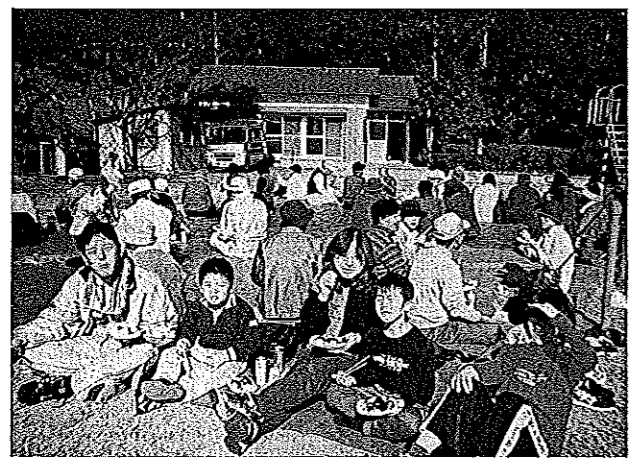
四月には「さくら街道まつり」八月には青空公園で「夏祭り」十月は中央地区大運動会等中体振の行事が目白押しです。楽しみ親睦を深め体力づくりに多数の参加を期待しています。

ふれあいウォーキング

関門地区体育振興会 五和宮 勇

晩秋の日差しを浴び、地区恒例の「ふれあいウォーキング」を、十一月二十四日(日)体育振興会主催、地区社協、中関老連共催により、幸の台・岐山公園までのウォーキングを実施した。(約六十人の参加あり)

この時期にしては快晴に恵まれ、行きは少しの勾配道でしたが、新しい道路、新しい家々、所々に紅葉のある周辺の景色を眺めながら岐山公園に無事到着しました。公園にて「ホールインワン」輪投げ、「果物の重量当て」、「ピンゴ」ゲームを楽しく行い、昼食をし公民館に帰りました。参加者の内で幸の台・岐山公園



に初めて来た人が多く、周辺のあまりの変わりようにびっくりしたとの事でした。

公民館ホールにて各ゲームの賞品の授賞式の楽しかった事、受賞者のうれしそうな笑顔が忘れられません。今回は社協、老人クラブの共催があり参加者も多く、賞品の数も多く経費面で非常に恵まれました。

コミ、振興会等行事の多い内、これからの地区振興会行事には役員の仕事は増しますが、振興会主催、地区各団体との共催という形式で行事を実施する方法がベターだと思えます。皆様各行事には多数の参加をお待ちしています。「明るく」「楽しく」やりましょう。